



# NEWS

2009 No.225

12月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

## 「エコアクション21」でお得に環境マネジメント強化

# ストップ地球温暖化で参加企業が拡大中 CO<sub>2</sub>削減でNGPも協カスキームを提供できます

「エコアクション21」の認証・登録を行う中小企業が増えています。

昨今の景気状況で環境マネジメントの取り組みに関しても支出は抑えたいとの要望が強まっているからです。

エコアクションに取り組む事業者を対象にした支援スキームをNGP 協同組合も用意しています。

「エコアクション21 認証・登録制度」をご存知ですか。1996年に環境省が策定した中小企業向けの環境経営マネジメントの仕組みです。制度の見直しが行われ、現在は「エコアクション21 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版」に沿って取り組み、第三者機関の財団法人地球環境戦略研究機関持続センター(IGEC-CfS)が認証・登録する制度になっています。

取り組むことは環境マネジメントの国際規格「ISO14001」と同じです。ISOは国際標準化機構(ISO)が定めたものですが、エコアクションは日本の環境省が定めたもので、国際版と国内版の違いというわけです。大手輸出企業は、欧米企業との取引のために国際標準が必須となりますが、整備事業者さんのように国内取引を主体とする事業ならば、環境経営をしていると十二分に胸を張ることが可能な内容です。

もちろん国内版といってもやるべきことはやります。環境負荷の自己チェック、環境への取り組みの自己チェックを行い、環境方針を作成、環境目標・環境活動計画の策定を行います。この計画に基づき具体的な取り組みを始め、定期的に成果を環境活動レポートとしてまとめます。認定されたエコアクション21の審査人に、この一連の活動がガイドラインの要求事項に適合していると認められれば合格です。

以上がおおまかな流れになります。各地の中小企業協団体中央会などが主催するエコアクション21のための勉強会があり、相談窓口を設けて、取り組み手順や費用など取得のための相談に乗ってくれます。

整備業者の皆さん向けには、あいおい損害

保険がエコアクション21の認証支援制度をスタートさせ、勉強会を実施しています。4回の勉強会で目標設定、計画策定を行い、認証・登録の手続きをサポートします。審査・登録費用はかかりますが、勉強会への参加は無料、代理店の支援策としてあいおい損保が取り組んでいるものです。

実際の審査費用は10~30万円程度、これに加えて登録料が10人以下の事業所で5万円、11人

以上300人以下の事業所で10万円かかります。更新のたびに費用負担はありますが、更新審査で100万円というISOより遥かに負担は軽いといえます。現在、4000社近い中小企業が認証登録しており、その中多くの整備業者の方も含まれています。

さて、エコアクション21へ取り組むメリットは何でしょう。ガイドラインでは二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、そして総排水量を必ず把握して環境への総合的な取り組みを実施することを求められます。これらのデータ把握は光熱・水道費などの経費削減、生産性向上につながります。これらの取り組みを環境レポートとして公表することで、取引先や消費者に信頼性を高めることができます。

エコアクション21に取り組んだ事業者を訪れた際、お客様を受け付けるフロントに環境活動レポートが誇らしげに置かれてあ



あいおい損保東京北支店練馬支社で行われたエコアクション21 認証取得支援の勉強会

るのを目にする事もあります。

エコアクション21は、グリーン購入法に連動した枠組も取り入れられました。NGP 協同組合が供給するリサイクル部品はグリーン購入法の対象でリサイクル部品をお使いいただければ、事業者それぞれにどれだけCO<sub>2</sub> 排出削減につながったかの数値を示すことが可能です。また、NGP 協同組合独自で取り組んでいるリターナブル梱包材「エココンポ」ならさらにリサイクル部品利用時のCO<sub>2</sub> 削減効果を上積みできます。

さらに、リサイクル部品を利用した修理に熱心で、環境負荷低減に努めている整備事業者とエンドユーザーを結びつけることができなければ探るほか、リサイクル部品を使って修理をしたエンドユーザーと修理をしていただける整備事業者を結びつけるインターネット・サイトや啓もうツールを作ることとも検討しています。

東京モーターショーに見る電気自動車、その可能性

# 「話題」のエコカーに 海外からは「新鮮味がない」との評価も



出展規模の縮小と来場者の少なさに話題が集中した第41回東京モーターショー。

日本車メーカーはエコカーを積極的に出展していましたが、その一方で海外メディアからは「新鮮味がない」という批評も。ショーを通して、自動車と自動車産業の将来を見詰めてみました。

10月23日から始まった第41回東京モーターショーは、13日間の会期中に会場を訪れた人は、わずか61万4400人でした。1日平均4万7千人あまり、この来場者の規模は、晴海会場以前の草創期のモーターショーと同じレベルです。自動車産業に関連した商売を続けるものにとって、ショーの結果をみると、「自動車離れが加速しているのか」と困惑してしまうほどでした。

最大の原因は、海外主力メーカーの出展が皆無だったことです。ロータス、アルピナといったところでは大きな動員力は発揮できません。日本メーカーも、トヨタ自動車「レクサス」ブランドの最上級スポーツモデル「LFA」をお披露目しましたが、憧れとなる新モデルが華々しく競演したわけではありません。目立ったのは環境対応車で、「まるでエコカーワールドか」(環境省主催の低公害車フェア)と感じた人も多かったようです。

日本車メーカーがワールドプレミアとして展示した車両は、ショーに合わせて発売し

たスズキの「キザシ」を含めて19台。このうち電気自動車(EV)が4台、ハイブリッド車が日産「新型フーガ」の追加モデルを含めて6台と環境対応車が過半を占めました。

EVは、トヨタ「FT-EV II」、ホンダの「EV-N」などのコンセプトカーが出展されましたが、費用削減にともなう演出効果が派手ではなかったことも原因なのか、新鮮味のある車両は少なかったという印象です。そのあたりが海外メディアの論評に現れています。その中で日産は2010年市販予定のEV「リーフ」とともにタンデム2



鳴り物入りで登場したレクサス「LFA」

シーターのコンパクトEV「ランドグライダー」を出品、車体を傾かせることでコーナリングを安定させる走行制御が来場者の関心を集めていました。

日本車メーカーの中で、唯一エンジン開発で燃費向上をアピールしたのがマツダで、コンセプトカー「清(きよら)」はジャパンプレミア(日本初)ながら搭載したガソリンエンジン「SKY-G」は、ディーゼルエンジンの「SKY-D」とともにワールドプレミアです。後日、マツダの開発担当者の話を聞く機会があったのですが、マツダとしては2020年までの見込みの中で、ハイブリッドやアイドリングストップなどの電気デバイスが普及して燃費向上が進むと見ていますが、まだ主流は内燃機関だとしてエンジンの効率化を進めるということでした。

ハイブリッド車は増えそうですが、一足飛びにEVになることはないようです。



新型「フーガ」に車種追加で搭載されるハイブリッドユニット



マツダの次世代直噴ガソリンエンジン「SKY-G」

## NGP 今月のCO2削減量

NGP平成21年10月: **8,014t** (全12団体計: 14,170t)

1月からの累計: **76,428t** (全12団体計: 137,991t)

NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO2の削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。





## リサイクル部品のCO<sub>2</sub>削減に上乘せ効果!! 廃棄物削減が評価 リターナブル梱包材が 「グリーン購入大賞・優秀賞」に選定

NGP 協同組合が取り組み始めたリターナブル梱包材が、第11回「グリーン購入大賞」の優秀賞(民間団体・学校部門)を受賞しました。リターナブル梱包材は、今年3月からドア・フェンダーの輸送用で利用を開始したもので、梱包資材をダンボールから繰り返し使える専用の樹脂製容器に切り替えることで、輸送にかかわる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出をおよそ4分の1へと大幅に圧縮できます。

リターナブル梱包材を200回程度利用することが前提になりますが、修理時のCO<sub>2</sub>

排出削減につながる自動車リサイクル部品の効果をさらに高めることができ、まさに「中身も箱もECO主義!」な修理用部品を提供することができます。また、ダンボールの廃棄物削減につながることもあり、これが評価され、優秀賞に選ばれました。

グリーン購入大賞は地球温暖化防止に役立つグリーン購入を促進するため、先進的な取り組みを行っている企業、団体を表彰するものです。グリーン購入ネットワーク(GPN、中原秀樹会長)が主催し、経済産業省、環境省が後援しています。今回の大賞では、日本自動車リサイクル部品販売団体協議会(JAPRA)が早稲田大学環境総合研究センターなどとともに組み、NGP 協同組合も参加する「グリーンポイントシステム」(リサイクル部品のCO<sub>2</sub>削減効果の数値化、見える化)も同じ優秀賞を受賞しています。

リサイクル部品業界がグリーン購入大賞でダブル受賞したということ



表彰状を受け取る大橋理事長



プレゼンテーションに臨む田中副理事長(中央)とJAPRAの清水会長代行(右)

は、地球温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減という全人類の課題とともに、自動車リサイクル部品の役割が高まりだしたことを意味するでしょう。

表彰式は11月6日に北海道札幌市内のホテルで開かれました。NGPの大橋岳彦理事長らがJAPRAの清水信夫会長代行とともに参加、環境大臣賞に輝いた阪急電鉄、大賞を受賞したシャープ、パイオニアといった大手企業とともに表彰を受けました。



大手企業とともにひな壇に

### 多田自動車商会

## 三木金物まつりに出展 リサイクル部品を啓もう

株式会社多田自動車商会(平田武士社長、兵庫県三木市)は11月7、8日に三木市市役所周辺を会場に開かれた「三木金物まつり」に出展し、自動車リサイクル部品をPRしました。三木金物まつりは地元の伝統産業をアピールするため1952年から始まったイベントで、金物・刃物製品を求めて遠方からも多くの人々が訪れ、にぎわいます。

株式会社多田自動車商会は昨年に続く出展で、お馴染みとなったカラフルボディの「マーチムジン」で自動車リサイクル部品



エンブレムなどは注目のひと品に

の利用促進を訴えるとともに、使用済み自動車の買取サービスをPR。さらに解体作業時に取り外したエンブレムやラン



大勢の人でにぎわう三木金物まつり

プ、ミラー、ホーンなどのチャリティー販売を行いました。チャリティーの売上金8万2000円は交通遺児育英会に寄付しました。

金物まつりには兵庫県自動車整備振興会、兵庫県自動車車体整備協同組合も参加しており、地域に密着した伝統のお祭りの中で、関連業界の関係者や地元の人と交流を図ることができました。

## シートベルトを 正座補助イスに リサイクル

使用済み自動車から取り外したシートベルトが携帯用の「折りたたみ正座イス」に



変身しました。静岡県御殿場市の健美幸商事(鈴木武市代表)が作成したもので、材料のシートベルトは近隣のNGP 協同組合員である太田部品(太田広社長)が提供しています。

折りたたみ正座イスは三角形に組み立て、正座時にお尻の下に敷いて使い、足の痺れを防止します。折りたたむと手帳ぐらいの大きさになり、法事などで正座しなければならないときに重宝します。使用済み自動車から取り外したエアバッグの袋、シート生地やシートベルトでエコバッグやペットボトルホルダーなどが試作されていますが、正座イスは珍しい一品です。健美幸商事が特許を取得しているそうです。

## 第5回ハイブリッドカーセミナーを開催

### プリウスとインサイトの違いや安全確保を脳裏に刻む

第5回ハイブリッドカーセミナーが11月10、11日に静岡県裾野市のあいおい東富士研修センターで開かれました。8人の参加者は、高電圧のハイブリッド車を扱うのに資格がなぜ低電圧なのかといった初歩から、電気の高電圧取扱者の特別安全教育にそった基本知識、スタータージェネレーターとモータージェネレーターの二つを組み合



ハイブリッドのメカニズムの違いを実物で確認

わせ駆動しているトヨタ「プリウス」の機構やホンダ「インサイト」とのメカニズムの違いなどを学びました。

低圧電気取扱者の特別安全教育は労働安全衛生法で定められたものです。初日に学んだ緊急蘇生法もその一環、万が一事故が起こったときに重要で欠かせぬ知識です。心肺機能停止時に行う心臓マッサージは1セット30回、1分間に100回のペースで胸骨を圧迫します。各自、ダミーを使って確認しました。

「自社ではハイブリッドカーは2、3台しか処理していませんが、今まですごく危険な作業をしていて怖いぐらいです。今回のセミナーの経験を活かして、安全で確実な作業を社内で徹底したいと思います」(リサイクルガレージケワーン 井上哲弥さん)、「何も知らなければ危険な作業でも、正しい知識があ



実際にやると体力がいる心臓マッサージ

れば安全で何も恐れる必要がないことが分かりました。会社に戻ったら今回のセミナーで学んだことを他の人にも教えて安全に仕事ができるように取り組みたいと思います」(オートパーツ伊地知 有馬巖さん)と、メカニズムとともに作業にもっとも必要な安全確保を心に深く刻みました。

## 第4回生産STEP UP 研修会

### タイミングよく衝突実験を見学、現場・現物主義で技量向上

第4回生産STEP UP 研修会を11月11～13日に静岡県裾野市のあいおい東富士研修センターで実施しました。ハイブリッドカーセミナーと連続する研修スケジュールで、両研修を受講した人も3名いました。短い期間で効率よく知識を深めてもらうため、現物に手を触れて行う実践的な研修にプログラムも進化しています。今回は衝突実験を見ることもできました。

「全体的に自分のやり方はちょっと手を抜いていた部分があったような気がしました。この研修で改めて、その部品にあった知識や故障などの見極め方、保管の仕方など徹底し

てやらないといけないことがよく分かりました」と話すコマゼンの平野真丈さん。同僚の林敬二さんは、「現場で仕事を続けていると、新しい情報はとても入りやすく、毎日進歩している自動車に遅れをとってしまう傾向にあると思います。こういった研修会を定期的に利用させていただき、現在の整備業界の状況や最新の技術を学ぶことはとても大切だと感じた」そうです。

石上車輛の酒井慎也さんは、「今まで当たり前で行っていた作業の中には、こういうルール、決まりだからと思って行っていることがありましたが、それも理解を深めて作業

ができれば、確実でよい商品化をさらに進めていけると思いました」と話しています。



エンジンを分解しながら構造と不具合の知識を深める

## 組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
東北	株式会社西武オートパーツ	住所表示	〒989-6135 宮城県大崎市古川穂波2丁目2番11号	21年10月31日
中四国	クレストパーツ	会社代表	代表取締役 中村昌徳	21年10月26日
中四国	有限会社西川商会	FAX	0857-28-9013	21年11月16日

## 訃報

10月25日、株式会社吉田商会(愛知県豊橋市)吉田廣喜代表取締役社長のご母堂、吉田イト(よしだ・いと)様のご逝去されました。享年95歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
http://www.ngp.gr.jp

## 株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201